

1 進路決定に向けて

- (1) 将来の夢や希望する職業等も十分に考慮し、入学後の先を見据えた進路決定をする。
- (2) 授業料や通学時間等の諸条件を考慮する。
- (3) 部活動に入部を考えている場合は、学業と両立が可能かどうか考える。
(部活動によっては、試験前でも練習や遠征があり、試験勉強に取り組む時間の確保が難しい場合もあります。)
- (4) 受験するすべての学校に進学する気持ちをもつ。

2 令和8年度 公立高等学校入学者選抜について（令和7年度実施）

(1) 確認事項

- ①公立高校は、入学候補者（合格者）となった場合は必ず進学をします。
- ②他の都道府県の公立高校と千葉県公立高校の両方を受検することはできません。
※他の都道府県の公立高等学校を受検する場合は、事前に受検先の都道府県で資格審査が必要です。原則として保護者とともに転居することが前提になっていることがほとんどです。また千葉県の公立高校を受検しないことを証明する「不受検証明書」を千葉県教育委員会に申請して証明書を発行してもらうことが必要なケースも多いです。2学期中に手続きをしなければいけない都道府県もありますので、早めに受検校の教育委員会に確認をお願いします。

(2) 浦安市から受検できる学区及び市町村

①全日制普通科 第1学区（千葉市）

第2学区（浦安市、市川市、松戸市、船橋市、習志野市、八千代市）

第3学区（野田市、柏市、流山市、我孫子市、鎌ヶ谷市）

第4学区（成田市、佐倉市、四街道市、八街市、印西市、臼井市、富里市、
印旛郡内全町）

②専門学科

③総合学科

④定時制

⑤通信制

⑥女子高

すべて受検できます

⑦市立高校 普通科

受検可能・・・市立船橋、市立松戸、市立柏、市立習志野

受検不可能・・・市立千葉、市立稲毛、市立銚子

専門学科 市立銚子・市立稲毛以外受検可能

(3) 一般入学者選抜について

①日時・・・2月17日(火)、18日(水) ※定時制の場合は17日のみ実施

両日とも9:30までに集合となります

②検査内容・・・1日目 学力検査(国語、数学、英語)

2日目 学力検査(理科、社会)

学校設定検査(面接、自己表現、作文、小論文、集団討論、適性検査

学校独自問題、その他の検査の中から1つ以上)

※試験時間は英語のみ60分間、他教科は50分間です。

※国語は聞き取り、英語はリスニングがあります。

※解答はマークシート式と記述式になっています。

※地域連携アクティブスクールの場合は3科+学校設定検査となります。

③持ち物・・・受検票、鉛筆(シャープペンシル可)、消しゴム、コンパス、上履き、弁当

三角定規一組(角度の目盛りのないもの、直定規不可)

※下敷きは持参しません。

※時計を持参する場合は、計算機能のないもの、音の出ないもののみ可。

検査室には時計がない学校もあります。

※携帯電話の検査室への持ち込みは不可となります。

※検査室での物の貸し借りはできません。

④流れ・・・※①志願者情報の登録及び入学検査料の納付期間

1月13日(火)～ 2月 2日(月)まで(土日・祝日を含む)

※②出願書類の提出 2月 3日(火)～2月 5日(木)正午まで

※③志願変更・希望変更 2月10日(火)～2月12日(木)16:00まで

学力検査 2月17日(火)、2月18日(水)

※④追検査受検願等提出 2月20日(金)、2月24日(火)正午まで

※⑤追検査 2月26日(木)

※⑥入学許可候補者発表 3月 3日(火)9:00～

※①: インターネット出願となっています。家庭の事情により、インターネットの環

境が整わない場合は、担任までご連絡ください。流れは以下の通りです。

志願校のウェブページにて志願者情報の登録 → 本校校長の承認処理 →

入学検定料の納付 → 本校校長の承認処理

以上の流れを以って出願手続きが完了となります。完了後、調査書の封筒に

貼ります「宛名票」を各家庭で印刷してもらいます。

出願書類の提出が郵送となり、2月3日（火）高校側に書類等が届くよう郵送を行いたいのので、本校では志願者情報の登録及び入学検査料の納付期間納付期間を

1月13日（火）～1月27日（火）までとします。

また、本校にて卒業アルバムの個人写真と同時に受検（受験）用の写真を撮ることができます。

11月4日（火）9：00～ 予備：11月12日（水）9：00～

写真は任意となりますので、日にちが近づいた頃に保護者様宛に承諾の手紙を配布します。

※②：本校職員で郵送の手続きを行います。（2月2日（月）郵送）

※③：各校の倍率が発表された後、志願する学校を変更することができます。

志願変更する場合は、先に志願した高等学校へ書類を持参し、取消証明書をもらう等、様々な手続きが入ります。志願者情報登録・入学検査料納付期間は2月7日（土）～2月12日（木）16：00までとなっていますが、すでに
出願書類の手続きも始まっているため、2月7日（土）～2月9日（月）までとします。翌日10日（火）、新たな志願校へ直接持参します。

検査料について：県立高等学校から県立高等学校 検査料なし

市立高等学校から県立高等学校 新たに納付

県立高等学校から市立高等学校 新たに納付

※④：追検査は、以下の理由により本検査をまったく受検をすることができなかった者のうち、所定の手続きにより、志願する高等学校の校長に承認を受けた者が受検できます。

- ・インフルエンザ罹患や新型コロナウイルス感染症等、本人に帰責されない
身体健康上の理由がある場合
- ・受検者が自然災害や会場に向かう途中の事故・事件に巻き込まれた場合
- ・忌引きの扱いとする事由が生じた場合

※⑤：検査はすべて1日で行います。そのため8：45までに集合となります。

※⑥：各高等学校において掲示により入学許可候補者の受検番号を発表します。

また、検査日等やインターネット特設サイトでの合否紹介について、アクセス方法やアクセス時に必要なURL（二次元コード）、ID、パスワード等を知らせます。選抜結果の志願者本人宛て通知は、3月3日（火）9：00～31日（火）16：00までの期間中に、志願者が個別にダウンロードできます。

⑤選抜方法・・・(1) 中学校の校長から送付された調査書

(2) 学力検査

(3) 学校設定検査

以上の3つの資料をもとに総合的に判断して判定します。

⑥その他・・・障害がある場合や、その他特別な配慮が必要な志願者は『受検に係る特別配慮申請書』を志願する高等学校の校長に申請することができます。申請後は、高等学校の校長と中学校の校長とで協議をし、検査の公正さが保たれ、実施可能な範囲で適切な措置を講じてもらうことがあります。

入国後の在日期间が3年以内で、日本語指導が必要な志願者が学力検査問題にルビ振りを必要とする場合には、『学力検査問題のルビ振りに係る特別配慮申請書』及び外国籍を証する書類(日本国籍の場合は必要ない)により申請することができます。

(4) 第2次募集について

①入学許可候補者が募集定員に満たない場合は、第2次募集を行います。

②すでに3月3日の段階で入学許可候補者となっている者は出願できません。

③流れ・・・志願者情報の登録及び入学検査料の納付期間

3月3日(火) 16:00～ 3月5日(木) まで

出願書類の提出 3月 6日(金) 16:30 まで

志願変更・希望変更 3月 9日(月) 16:30 まで

検査 3月11日(水) 9:30 までに集合

入学許可候補者発表 3月13日(金) 9:00～

※2月同様に、インターネット出願となります。

※出願書類等提出については、志願者本人が志願校へ直接持参します。

④検査内容 (1) 面接

(2) 学校設定検査(自己表現、作文、小論文、集団討論、適性検査、学校独自問題、その他の検査の中から1つ)

(5) 公立高等学校入学者選抜までの流れ(インターネット出願)

12月頃	志願者マニュアル等の確認	12月頃に各高校のホームページに「出願登録サイト」「志願者マニュアル」のURL等が掲載されるので確認します。 ※自己表現・適性検査等の項目の入力方法も確認
------	--------------	--

	出願登録サイトへアクセス	パソコン、スマートフォン、タブレット端末のいずれかを利用して、志願する高校のホームページから「出願登録サイト」へアクセスします。 ※同一校内の全日制と定時制は URL が同じです。 情報登録入力時に、課程を選択します。
	ID（メールアドレス）登録	「出願登録サイト」に、志願者の顔写真データをアップロードします。スマートフォン等で撮影可。
冬休み中	志願理由書の下書き （必要な人のみ）	冬休み明けに担任に提出します。 1月23日（金）までには清書書きを完了します。
1月27日	手続き完了	『宛名票』を印刷し、担任に渡します。
2月2日	郵送完了	本校職員で郵送の手続きを行います。 郵送後、志願校側で手続きの確認を行い、6日（金）までに志願者宛に「受理完了メール」が届きます。 7日（土）より『受検票』『入学願書等受理証』を印刷し『入学願書等受理証』を切り離します。
2月6日～		①2月6日（金）に新聞で発表される志願者数の発表を見る。 ②志願変更する場合は、6日（金）朝のうちに担任に変更する旨を伝え、各家庭で手続きを進めます。担任より『志願（希望）変更願』をもらい、必要事項を記入します。 ③2月9日（月）に『志願（希望）変更願』『受検票』『入学願書（新たに出願する高校）』を担任の先生に提出する。 ④2月10日（火）の朝、担任の先生から『志願（希望）変更願』『受検票』『入学願書（新たに出願する高校）』を受け取り、先に出願した高等学校に行き、『志願（希望）変更願』『受検票』を提出します。 ⑤先に出願した高等学校から、『志願取消証明書』を受け取り、新たに出願する高等学校に行き、『志願取消証明書』『入学願書』を提出します。
17日（火） 18日（水）	学力検査1日目 学力検査2日目	
3月3日	入学許可候補者の発表	
発表後		高等学校からの指示に従い、手続きを進めます。

(6) 公立高等学校入学者選抜までの流れ（インターネットの環境が整っていない場合）

9月～ 冬休み中	写真準備	縦4cm×横3cm（令和7年9月1日以降に撮影したもの。カラー・白黒いずれも可）を2枚用意します。 ※志願変更をする場合には、さらに2枚必要です。
11月	入学願書等準備	『入学願書』『収入証紙貼付票』『受検票』『入学願書等受理証』を本校で用意します。 上記のものを担任から受け取り、家庭で所要事項を記入します。 ※入学願書については、中学校で記入します。
冬休み中	志願理由書の下書き （必要な人）	冬休み明けに担任に提出します。
1月中旬	入学願書の下書き	中学校で下書きをします。その後、清書をして1月23日（金）までに担任の先生に提出します。
	県収入証紙購入 （学校にて準備します）	県立高校を受検する際に購入します。 ※市立高校を受検する際は、市立高校の納付方法を確認してください。
27日（火）	出願書類提出（校内締切日）	『入学願書』『県収入証紙（市立高校は別）』『志願理由書（必要な人）』を担任の先生に提出します。
2月3日（火）	出願	本校職員で郵送の手続きを行います。 出願書類に加え、受検票及び入学願書等受理証を送付するための返信用封筒（110円切手を貼った定形長形3号）に志願者の住所、及び郵便番号を表記したものを同封します。
2月6日（金）	志願変更・希望変更	①2月6日（金）に新聞で発表される志願者数の発表を見る。 ②2月6日（金）の朝に担任に変更の旨を伝え、『志願（希望）変更願』『受検票』『入学願書（新たに出願する高校）』を受け取り、家で必要事項を記入します。 ③2月9日（月）に『志願（希望）変更願』『受検票』『入学願書（新たに出願する高校）』を担任の先生に提出する。 ④2月10日（火）の朝、担任の先生から『志願（希望）変更願』『受検票』『入学願書（新たに出願する高校）』を受け取り、先に出願した高等学校に行き、『志願（希望）変更願』『受検票』を提

		出します。 ⑤先に出願した高等学校から、『志願取消証明書』を受け取り、新たに出願する高等学校に行き、『志願取消証明書』と『入学願書』を提出します。 ※県立高校から市立高校へ、市立高校から県立高校又は他の市の市立高校へ変更する場合は、新たに入学者検査料を納付する必要があります。
--	--	---

3 私立高等学校受験について

(1) 学区・・・通学可能であればすべて受験可能です。

(2) 選抜方法・・・学力試験（国語・数学・英語の3教科の学校が多い）

面接（保護者同伴の面接を実施する学校もあります）

実技検査

調査書

※私立の高等学校の入学試験は、それぞれの学校に特色があります。事前に内容や特色をよく調べて対策を立ててください。

(3) 試験日

千葉県内私立高等学校 前期 1月17日～18日前後
後期 ほとんどの学校が実施していません

東京都内私立高等学校 推薦 1月22日前後
一般 2月10日前後

※詳しい日程は、各高等学校のHP または募集要項で確認してください。

(4) 出願

①WEB 出願 12月からWEB上で必要事項を入力します。
受験票や写真票は、家庭またはコンビニで印刷します。
パソコン（スマホ）上で写真をアップロードする学校もあります。

②受験料の振り込み

③出願 1月6日以降に調査書等を高等学校に提出します。（郵送または持参）
※WEB 出願ではなく直接、願書等を提出する学校もあります。
※千葉県内の私立高等学校は、1月初旬～中旬にかけて出願を行います。
※12月中に出願ができる高等学校もありますが、調査書が12月末日現在での作成になるため、1月6日以降の出願となります。

(5) 受験方法

- ①推薦…高等学校が示す基準を満たしており、同時に浦安中学校の推薦基準を満たしている場合に、浦安中学校の校長から推薦を受けて受験する制度です。原則として、推薦を受けられるのは1校のみです。但し、志願する学校によっては、当日の点数の基準に満たなかった場合は不合格になることもありますので、その場合は2校を推薦することも可能です。詳しくは、担任に相談してください。

『高等学校の基準』（例）3年1学期または2学期の5教科の評定合計が18以上。

※加点制度のある高等学校もあります。

（英検3級で+1点、生徒会役員+1点 等）

『浦安中学校の基準』その1 志望動機が明確である。

その2 学業及び生活面で頑張っている。

その3 進学先で3年間頑張る意思があるものと認められる。

その4 合格後に必ず入学手続きを行う意思がある。

- 単願推薦：私立高等学校を第1志望とし、合格すれば必ずその学校に進学することを条件として受験する方法です。従って、合格後は必ずその高等学校へ進学しなければなりません。もし、この制度を利用して公立高等学校を第2志望にしていた場合、私立高等学校の合格の結果が出た時点で、公立高等学校への出願はできなくなります。

（公立高等学校出願後の場合は、出願した公立高等学校へ『志願取消届』を提出することになります。）

※「専願」や「第1希望」と呼び名が異なる学校もあります。

- 併願推薦：原則として、公立高等学校が第1志望で、受験する私立高等学校が第2志望の場合、公立高等学校が不合格ならば必ずその学校に進学するという条件として受験する方法です。合格した場合、一時金を納入しなければならないような学校や「延納願い」等の書類を提出する必要がある学校もありますので、募集要項にて確認をしてください。

※併願する学校が第1志望でなくてはならない学校や、他の私立高等学校が第1志望でもよい学校など様々あります。

推薦受験の場合、ほとんどの学校が事前に入試相談（高等学校と中学校の間で推薦制度の利用が可能かの確認）を行います。11月にある進路会議にて、推薦基準に足りているかどうか検討し、場合によってはご家庭に連絡し、志望校を変更する可能性があります。

- ②一般 推薦などの制度を利用せずに受験する制度です。受験日が重ならなければ何校でも受験することができます。合格しても辞退することができます。ただし、あまり多くの学校を受験すると生徒本人の心身の負担が大きくなります。

(6) 私立高等学校入試までの流れ

11月 4日～ 11月10日	三者面談	志望校の決定、受験方法の決定 「調査書確認票」「調査書作成願い」配付
11月15日 (授業参観日)	調査書作成願い提出 (15日までに提出)	希望校すべての学校を進学する意思があるかどうか ご家庭で話し合い決めてください。
11月25日～	進路会議	推薦基準が足りていなかった場合は、担任よりご連絡いたします。改めて、推薦を志願する学校を決めて もらいます。
12月上旬～	出願書類の準備 出願書類担任確認	出願書類(募集要項、願書等)を各自で用意します。 ※有料の学校もあります。 <u>出願書類が揃いましたら、一式を担任に提出</u> してく ださい。担任が作成する書類(推薦書等)を受け取り、 返却します。募集要項がある場合には、一緒に提出し てください。コピーをとった後、返却します。
12月～1月	写真	写真(大きさや枚数の確認をしてください) 受験料の振り込み(現金持参の場合もあります)
12月～1月	願書の下書き	鉛筆で願書の下書きをして、担任の先生に提出して ください。願書の記入は、生徒本人が行います。
12月～1月	願書の下書き担任確認	記入漏れや間違いがないか確認をします。
12月～1月	願書の清書	下書きを返却されたら、ボールペン等で清書をして ください。清書ができたら写真を貼付、担任に提出し てください。(写真の裏には学校名と氏名を記入)
12月～1月	清書の確認	担任が最終確認をしたら返却します。
1月6日～ 12月～1月	調査書等受け取り 出願	原則として、出願の日に浦安中に取りに来ます。 (学校によっては12月に出願する場合があります。) 原則として、生徒本人が高等学校に出願に行きます。 (郵送の場合もあります) WEB出願の場合は、各家庭で行ってください。
1月～2月	受験番号報告	受験票と調査書受領証(高校によっては、ない場合が あります)を受け取ったら、すぐ担任に提出してくだ さい。受験票は受験番号を確認後、返却します。
1月～2月	受験	

1 月～2 月	発表	原則として、生徒本人が高校に行きます。 (郵送または Web での発表もあります) 可否にかかわらず、中学校に報告します。
1 月～2 月	手続き	入学手続きや延納手続きを期間中に行います。

4 受験（検査）に向けた準備

（１）出願書類作成上の注意

- ①公立高校・・・中学校で説明および記入をします。
- ②私立高校・・・鉛筆で下書き後、担任が点検し、清書をします。
※戸籍と同一漢字で、丁寧に楷書で記入します。
※文字は黒インク（ペンまたはボールペン）で記入します。（フリクション不可）
※書式や記入方法は、各高等学校で異なるので、募集要項の書き方等をしっかりと読み、その指示に従って記入をしてください。

（２）受験料（受検料）

- ①公立高校・・・県立高等学校：全日制（2,200 円）、定時制・通信制（950 円）
事前に集金し、中学校で一括して「県収入証紙」を購入後、願書に貼り付けます。
市立高等学校：各市の納付書で納付します。（現金で納付の高校もあります）
- ②私立高校・・・現金または銀行振り込み、オンライン決済など高校によって異なります。
WEB 出願の場合、多くの高校が入金後、受験票の印刷ができます。

（３）写真

- ①公立高校・・・2 枚（縦 4 cm×横 3 cm、カラー・白黒どちらでも可）
※9 月 1 日以降に撮影したもの
- ②私立高校・・・枚数、サイズは高校によって異なります。

（４）調査書

- ①公立高校・・・千葉県の所定の書式を中学校で用意します。
※他の都道府県の公立高等学校を受検する場合は、その都道府県の書式を用意するので、早めに担任に伝えてください。
 - ②私立高校・・・高校所定の書式を使用する場合と千葉県の公立高校の書式を使用する場合があるので、募集要項で確認をしてください。
- ※調査書は担任から受け取り、他の書類と一緒に厳封したまま受験校に提出します。
※調査書は原則、出願日または郵送日の当日に渡します。

(5) 出願

①公立高校・・・学校でまとめて郵送します。

(志願変更や第2次募集を行う場合は、生徒自身で行います。)

②私立高校・・・原則として生徒自身で行います。

どちらの場合も、出願時に渡されたもの(受験票や調査書受理証等)は中学校に提出します。「受験票」はコピーをとった後、返却します。

(6) 試験(検査)

適性検査によっては必要な持ち物もあります。募集要項等で確認をしてください。

(7) 発表

掲示される場合は各自で見に行き、合否にかかわらず担任に報告してください。

WEBもしくは郵送、発表日が休日の場合は、登校した際に担任に報告してください。

5 「面接試験」について

多くの高校で筆記試験のほかに、面接試験を行っています。面接試験の目的は、志願した目的や高校で頑張る意欲があるかなどを知るとともに、筆記試験では判断できない人柄や性格、日常生活態度などを客観的に判断することです。日ごろからしっかりとした態度で生活することが大切です。

(1) 面接の形態

①個人面接 受験生1名に対して、試験官1～3名程度

②集団面接 受験生3～5名程度に対して、試験官2～3名程度

③保護者同伴の面接 受験生と保護者が一緒に受ける面接

(2) 主な質問内容

- ・志願理由(ほとんどすべての高校で聞かれます)
- ・高校で頑張りたいこと(多くの高校で聞かれます)
- ・中学校で頑張ってきたこと(多くの高校で聞かれます)
- ・自己PR
- ・その他(得意な教科・不得意な教科、自分の長所・短所、中学で一番思い出に残っていること、最近読んだ本、最近の気になるニュース、将来の夢 等)

(3) チェックポイント

- ・適切な言葉遣い
- ・学習意欲、進学意欲
- ・清潔な服装、髪型
- ・高校の教育方針への理解
- ・礼儀作法、態度

6 「調査書」への記載内容について

(1) 調査書には、3年間の学習の記録（教科の成績等）と特別活動の記録、部活動の記録が記載されます。（私立の学校では、他に出欠の記録、行動の記録、総合所見を記載する場合があります。）

(2) 記載内容に間違いがないか中学校でも点検をしていますが、保護者の方にも点検をお願いしています。点検の際は通知表ファイルを返却しますので、通知表と照らし合わせてご確認ください。

第1回点検：10月8日（水）にお子様を通じて「調査書確認票」をお渡しします。ご家庭で確認後、署名・捺印の上、10月23日（木）までにご返却ください。

※3年次の成績及び出欠は記録されていません。

第2回点検：12月中旬にお子様を通じて「調査書確認票」お渡しします。ご家庭で確認後、署名・捺印の上、ご返却ください。

※3年次の成績及び出欠をご確認ください。

※「調査書」の特別活動の記録にどのようなものを記載するかについては「調査書確認票」を配付する際にお知らせします。（主に行事・委員会での活動や学級で大きく貢献した係です。）

※各種検定（英検等）を記載する場合には、確認のため、合格証書等を提出していただきます。

※外部で活動しているお子様について、受賞されたものを記載することが可能です。正式な大会名と受賞した内容を担任に伝えてください。

7 公立調査書用評定及び学年末評定について

(1) 公立調査書用評定

1学期及び2学期の学習の様子を総合的に判断して算出します。

（例）1学期の評定が3、2学期の評定が4ならば、公立調査書用評定は3または4。

(2) 学年末評定

1学期から3学期の学習の様子を総合的に判断して算出しますので、必ずしも平均になるとは限りません。

（例）1学期の評定が3、2学期の評定が4、3学期が4の場合、学年末評定は3または4。

8 奨学金制度について（次頁に記載）

（１）千葉県奨学金

千葉県奨学資金貸付金の案内における留意点について

1. 卒業後に**返金が必要な制度**であること。
2. 書類審査のため、**予約奨学生の決定を即日には対応できないこと**。（※）
3. 予約奨学生となった場合、**高校入学後に書類の提出が必要**であること。（提出先は高校）

（※）千葉県の事業ではありませんが、私立高等学校の中には、千葉県奨学資金の予約奨学生となっている場合に学費の分割納付を受け付けている学校があります。

（例：飛鳥未来高等学校 初期費用軽減、学費分割制度）

千葉県奨学金をご希望される保護者様は、担任にお声かけください。担任より「千葉県奨学生予約募集案内」「千葉県奨学生予約募集 推薦事務の手引」の２種類、お子様を通してお渡しします。

本校で作成するものもありますので、申請を10月30日（木）までします。

（２）あしなが育英会

次頁にあります書面をご覧になり、締め切り12月15日（月）までに手続きをお願いします。